



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場取引所 東名福

上場会社名 株式会社ブリヂストン

コード番号 5108 URL <https://www.bridgestone.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役 CEO 兼 取締役会長 (氏名) 津谷 正明

問合せ先責任者 (役職名) 資金部長

(氏名) 剣持 徹夫 TEL 03-6836-3100

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	2,635,391	△1.5	250,345	△13.9	242,544	△12.3	205,403	△6.4
2018年12月期第3四半期	2,674,192	0.4	290,864	△3.0	276,544	△4.2	219,464	11.0

（注）包括利益 2019年12月期第3四半期 140,625百万円（△28.0%） 2018年12月期第3四半期 195,342百万円（△18.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	282.11	281.64
2018年12月期第3四半期	291.94	291.43

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	3,801,355	2,247,702	57.7
2018年12月期	3,840,269	2,436,162	61.9

（参考）自己資本 2019年12月期第3四半期 2,193,696百万円 2018年12月期 2,378,511百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	80.00	—	80.00	160.00
2019年12月期	—	80.00	—		
2019年12月期（予想）				80.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,490,000	△4.4	330,000	△18.1	315,000	△17.4	275,000	△5.7	380.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	761,536,421株	2018年12月期	761,536,421株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	57,500,024株	2018年12月期	9,726,528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	728,107,574株	2018年12月期3Q	751,746,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	2
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書 .....	4
四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	6

## 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	440,378	298,223
受取手形及び売掛金	601,417	601,444
有価証券	153,853	147,622
商品及び製品	407,608	415,847
仕掛品	37,904	43,675
原材料及び貯蔵品	171,720	154,882
その他	121,286	140,419
貸倒引当金	△21,729	△21,454
流動資産合計	1,912,440	1,780,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	550,399	574,935
機械装置及び運搬具(純額)	491,035	478,613
その他(純額)	426,936	439,491
有形固定資産合計	1,468,371	1,493,040
無形固定資産		
のれん	41,381	138,735
その他	60,072	50,948
無形固定資産合計	101,454	189,683
投資その他の資産		
投資有価証券	219,970	191,802
その他	139,557	147,280
貸倒引当金	△1,524	△1,111
投資その他の資産合計	358,003	337,970
固定資産合計	1,927,829	2,020,695
資産合計	3,840,269	3,801,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	233,970	199,683
短期借入金	100,627	73,295
コマーシャル・ペーパー	20,955	105,746
1年内償還予定の社債	70,000	—
リース債務	1,686	10,892
未払法人税等	15,073	23,127
リコール関連引当金	—	4,627
未払金	182,204	122,561
その他	262,601	281,623
流動負債合計	887,119	821,558
固定負債		
社債	150,000	350,000
長期借入金	38,041	36,890
リース債務	27,182	62,931
退職給付に係る負債	196,005	187,540
その他	105,759	94,731
固定負債合計	516,988	732,093
負債合計	1,404,107	1,553,652
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	121,997	121,997
利益剰余金	2,362,736	2,448,577
自己株式	△32,648	△232,405
株主資本合計	2,578,440	2,464,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,888	89,915
繰延ヘッジ損益	1,730	329
為替換算調整勘定	△174,850	△236,728
退職給付に係る調整累計額	△135,696	△124,343
その他の包括利益累計額合計	△199,928	△270,827
新株予約権	3,452	3,300
非支配株主持分	54,198	50,706
純資産合計	2,436,162	2,247,702
負債純資産合計	3,840,269	3,801,355

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,674,192	2,635,391
売上原価	1,657,500	1,638,396
売上総利益	1,016,691	996,995
販売費及び一般管理費		
販売運賃	135,559	138,210
広告宣伝費及び販売促進費	84,080	79,761
給料手当及び賞与	197,368	196,867
退職給付費用	15,746	14,995
減価償却費	26,506	31,647
研究開発費	75,018	77,611
その他	191,547	207,556
販売費及び一般管理費合計	725,826	746,649
営業利益	290,864	250,345
営業外収益		
受取利息	3,868	4,183
受取配当金	5,603	4,831
受取和解金	3,826	4,980
雑収入	8,837	7,658
営業外収益合計	22,135	21,653
営業外費用		
支払利息	10,207	7,846
為替差損	6,591	6,958
雑損失	19,655	14,649
営業外費用合計	36,455	29,454
経常利益	276,544	242,544
特別利益		
固定資産売却益	—	29,262
投資有価証券売却益	—	21,446
過年度社会負担金還付額	—	4,234
共同支配企業設立に係る差益	30,180	—
特別利益合計	30,180	54,944
特別損失		
減損損失	—	6,545
リコール関連損失	—	5,310
特別損失合計	—	11,855
税金等調整前四半期純利益	306,725	285,633
法人税等	80,634	74,688
四半期純利益	226,090	210,945
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,626	5,541
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,464	205,403

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	226,090	210,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,669	△18,966
繰延ヘッジ損益	△285	△445
為替換算調整勘定	△29,497	△60,596
退職給付に係る調整額	11,257	11,318
持分法適用会社に対する持分相当額	△551	△1,630
その他の包括利益合計	△30,747	△70,320
四半期包括利益	195,342	140,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,499	134,504
非支配株主に係る四半期包括利益	4,843	6,120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年2月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式47,838,200株の取得を行いました。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が199,757百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が232,405百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

会計方針の変更

(A S U第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用する在外連結子会社において、A S U第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(2014年5月28日。以下「A S U第2014-09号」という。)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

A S U第2014-09号の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識することが求められており、適用にあたっては遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

なお、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(I F R S第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用する在外連結子会社において、I F R S第16号「リース」(2016年1月13日。以下、「I F R S第16号」という。)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

I F R S第16号はリースの借手に、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識すること等を要求しており、適用にあたっては遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の資産が49,606百万円増加、負債が51,605百万円増加、利益剰余金が1,998百万円減少しております。資産の増加は主として有形固定資産、負債の増加は主としてリース債務の増加によるものです。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。